

夏季の節電へのご協力のお願い

今年度夏における電力需給は、2010年（平成22年）並の猛暑となるリスクや直近の経済成長の伸び、企業や家庭における定着などを織り込んだ上で、北海道電力管内でも電力の安定供給に最低限必要な予備率3%以上を確保できる見通しです。

一方で、大規模な発電所のトラブルが発生した場合、安定供給が確保できない可能性が懸念されます。

このような中、国民生活、経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で節電へのご協力をお願いいたします。

●節電をお願いしたい期間・時間・節電目標

7月1日（火）から9月30日（火）までの平日【8月13日（水）から15日（金）を除く】
9時から20時まで、無理のない範囲で、できる限りの節電（数値目標は設けません）

●夏の電力使用の特徴

夏の北海道における平日の電気使用は日中から夕方方の長い時間帯にピークが継続することが特徴となっています。

家庭では、特に夕方以降（18時から20時）の時間帯における節電のご協力をお願いします。

●家庭での節電メニュー（一例）

☆不要な照明をできるだけ消す。

☆テレビは省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要以外は消す。

☆冷蔵庫の設定を「強」から「中」に替え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。（食品の傷みにご注意ください。）

☆温水洗浄便座の温水のオフ機能、温水のタイマー節電機能を利用する。機能がない場合、使わないコンセントからプラグを抜く。

☆炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。

☆リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。

☆エアコンの設定温度を2℃上げて28℃に設定する、エアコンの代わりに扇風機を使用する。

●その他、節電・電力需給に関する情報については、「節電.go.jp」でご紹介しています。

○問い合わせ先：北海道経済産業局電力事業課 ☎011-709-2311（内2712）

広報みなみふらの

お知らせ版

2014. 6.15

No.307

野良猫への餌やり禁止と避妊・去勢手術について

毎年、野良猫に餌をやらないよう周知しているところですが、いまだ、餌を与えている方がいる状況です。

地域住民より、迷惑と感じる方、苦情を申し出る方が増えています。このことについては、個人のモラルの問題であり、結果的に餌を与えることにより不幸な猫が増えています。餌やりは絶対にやめましょう。

次に、猫の飼い主のみなさんへのお願いですが、適正な飼養のため、避妊、去勢を進めています。

①メス猫の避妊手術のメリット

メス猫は生後8ヶ月くらいで子供が産めるようになり、年2回発情し、妊娠期間は約2ヶ月で、1回目の出産で4～8頭子猫を産みます。他の動物と比べ繁殖率が高く交尾をすると必ず妊娠し、どんどん増えていきますので避妊手術をすることにより、繁殖に関するストレスから解放され、穏やかに過ごすことができ、猫白血病や猫エイズ感染症等にかかることも少なくなります。

②オス猫の去勢手術のメリット

尿の臭いが軽減し、スプレー行動も少なくなり、家の中で快適に暮らすことができます。

メス猫や縄張りを求め外に出たり、他の猫とのケンカも少なくなり、猫白血病や猫エイズ感染症や交通事故に遭遇する危険性も少なくなります。

※猫は外に出さないとストレスがたまると思っている方がいますが、本来、室内の運動だけで十分飼育ができます。

繁殖をさせる目的がない場合は、メスは最初の発情前、オスは生後1年以内の適切な時期に行うと効果ができます。この時期以外も手術はできますので、今からでも遅くはありません。

詳しい事は、動物病院にお問合せ下さい

○建設課環境衛生係 ☎52-2179